

琵琶湖総合開発事業(治水対策)の残事業

治水

上流 ⇒ 上下流合意した瀬田川洗堰操作で下流の洪水被害防除している。

下流 ⇒ 合意の前提である瀬田川～宇治川流下能力 $1,500\text{m}^3/\text{s}$ が未確保

洗堰下流の下記の地点で安全に $1,500\text{m}^3/\text{s}$ の水量を流すことができません。



①瀬田川



②天ヶ瀬ダム



③宇治川

琵琶湖沿岸被害の現状

(琵琶湖流域に雨が降ると沿岸では…)

- 琵琶湖流域(3,848平方km)に降る雨は、すべて琵琶湖に流れ込みます。
- 琵琶湖から流れ出る水は、瀬田川・琵琶湖疎水・宇治発電取水口です。
- 流入する水量 > 流出する水量 ⇒ 水位は上昇する
- その後、流入する水量 < 流出する水量 ⇒ 水位は下降する
 - ・ 流出量によって、水位の変動は、違いがあります
 - 流出量: 大 → 水位上昇は少なく、下降に要する時間は短い
 - 流出量: 小 → 水位上昇は大きく、下降に要する時間は長い
- 水位が上昇する事(流域に未曾有の大雨)に対して、沿岸ではどのようなことが起きているのか？ 起こるのか？